

# HOT NEWS

## 雲仙復興事務所

平成23年3月14日

★島原第四小学校が平成噴火災害を体験学習  
～20年前の災害のつめ跡を目の当たりに～

発信元

調査品質確保課 北御門 繁巳

島原第四小学校は、平成の雲仙普賢岳噴火災害に直接被害を被った千本木地区を校区にもっていた小学校でもあり、後世に伝えるため児童に毎年災害学習を行っています。今年は噴火災害20年という節目の年でもあり、教頭先生外2名の先生が3年生30名を引率し3月3日午前、千本木タブの木(火砕流に吹き飛ばされた鉄板がタブの木に巻き付いた遺構)・千本木展望台・大野木場監視所(愛称砂防みらい館)を見学されました。

現場に接し火砕流・土石流の自然災害の驚異と復興事業としての砂防工事を直接目にして、熱心にノートにメモをとり、多くの質問をして有意義な災害学習となったようです。



出発式



展望台  
より  
千本木ダム  
群を望む



タブの木  
と  
鉄板



監視所  
より  
砂防事業の  
説明